

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	7
事業名	感染症予防事業費	会計	款	項	目
		一般	4	1	2
施策	2	人にやさしいまち	課名	健康長寿課	
	2-1	健康に暮らすまちをつくる	係名		
	2-1-1	自らの健康づくりの推進			
主要施策	⑥感染症対策の推進				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	事業所、学校等で、感染症（結核）に係る定期的健康診断を受けることができない者（主に65歳以上の住民）	目的（対象がどのような状態になっているか）	感染症（結核）の早期発見及びそのまん延の防止する。
事業内容	・65歳以上の高齢者を対象に地域を巡回して結核検診を実施する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
指標	1	人口10万人対結核罹患率	11.9	23.6	3.9	%	↓	10以下
	2	定期結核健康診断受診率	36.4	37.0	34.2	%	↑	40
	3							
	4							
	5							
			平成30年度（決算）		令和元年度（決算）	令和2年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					4,948	4,806	9,322	
財源内訳	直接事業費A				3,142	3,000	4,132	
	うち一般財源				3,142	3,000	4,132	
人件費（千円）B					1,806	1,806	5,190	
内訳	一般職員（人・千円）		0.26	1716	0.26	1716	0.65	4290
	臨時職員（人・千円）		0.05	90	0.05	90	0.5	900

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	巡回検診に加え、集団検診の実施について、ニーズや費用対効果を考慮して検討する。	③取組の課題	社会保険被保険者は巡回での検診のみであり、集団で実施する他検診と合わせた受診ができない。
②R1年度に実施した取り組み	令和2年度から4年度までの検診業務委託契約において、後期高齢者健康診査を集団で実施できるようにしたため、対象者は集団検診が可能となる。	④今後の改善計画	社会保険被保険者の集団検診と巡回検診の継続について、ニーズや費用対効果を考慮して検討する。